

## 横浜市地球温暖化対策実行計画の改定について

### 1 趣旨

東日本大震災後の地球温暖化対策やエネルギー対策をとりまく状況の変化をふまえ、年度内に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定します。

計画の改定について、4月17日（水）、環境創造審議会に諮問し、地球温暖化対策実行計画部会を設置してご審議いただくこととなりました。

### 2 現行の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要

(1)位置付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく法定計画</li> <li>・温室効果ガスの排出抑制等のための施策を定める</li> <li>・「横浜市地球温暖化対策地域推進計画（H18年11月改定）」の後継計画</li> </ul>
(2)策定・公表	平成23年3月
(3)計画目標	温室効果ガスを、平成2（1990）年度比で 平成32（2020）年度に25%削減、平成62（2050）年度に80%削減 （前提として電力の排出係数は H19：0.425kg-CO <sub>2</sub> /kWh → H32：0.33 kg-CO <sub>2</sub> /kWh に改善）
(4)取組例	<b>【家庭】</b> 住宅や家電の省エネ化、省エネ行動推進、再生可能エネルギー普及、 <b>【業務・産業等】</b> 事業所における省エネ、再生可能エネルギー普及、 <b>【運輸】</b> クリーンエネルギー・低燃費・低排出ガス車の普及、 など

### 3 スケジュール（予定）

25年 9月	常任委員会説明（途中経過等）
年内目途	計画素案作成、常任委員会説明、パブリックコメント実施
年度内	新・実行計画公表
（26年 3月	IPCC総会 横浜開催）

### 4 環境創造審議会・地球温暖化対策実行計画部会委員（予定）

敬称略、五十音順

氏名	役職	専門等
秋元 孝之	芝浦工業大学工学部教授	建築環境工学
伊香賀 俊治	慶応義塾大学理工学部教授	都市の持続可能性工学
河野 正男	横浜国立大学名誉教授	環境会計
北原 まどか	特定非営利活動法人森ノオト（青葉台）理事長	生活目線からの環境・エネルギー
小林 光	慶応義塾大学大学院政策メディア・研究科教授	元環境省事務次官
小堀 洋美	東京都市大学環境学部教授	保全生物学
佐藤 一子	特定非営利活動法人ソフトエネルギープロジェクト理事長	市温暖化対策推進協議会事務局長
佐土原 聡	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授	都市環境工学
清水 靖枝	長屋門公園管理運営委員会事務局長	地域活動
中原 秀樹	東京都市大学大学院環境情報学研究科教授	持続可能な消費
村木 美貴	千葉大学大学院工学研究科教授	都市計画(低炭素都市)